

- いつも触れるものに・・・
- 毎日は掃除できないものに・・・
- 丸洗いでできないものに・・・

長く効果があるスプレーを！



アンチウイルススプレーの特長

1. 高い抗菌・抗ウイルス効果

2. 効果が約20日間持続

3. 安定性・安全性

4. 幅広い用途に使用できる

1. 高い抗菌・抗ウイルス効果

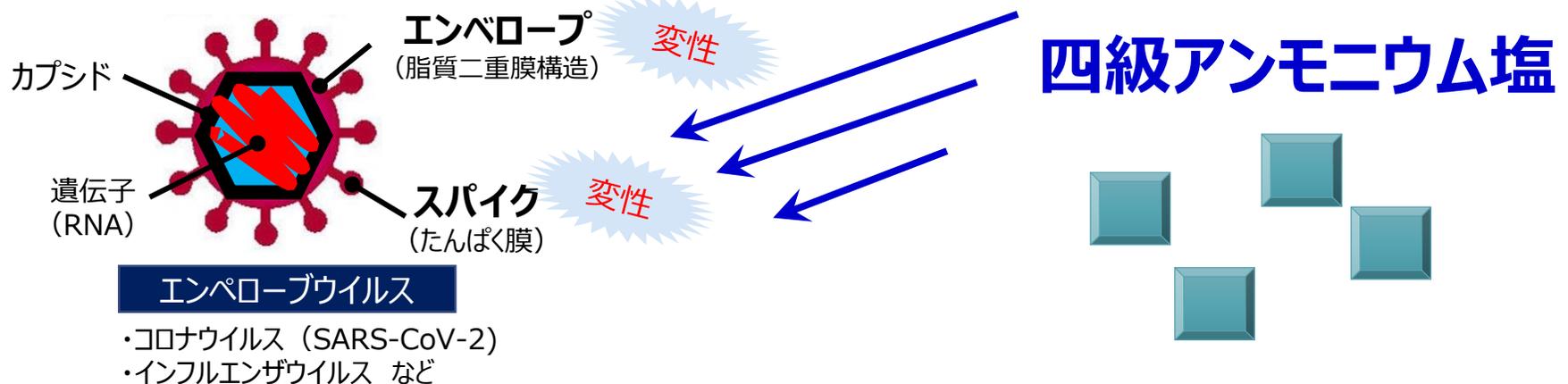
有効成分：四級アンモニウム塩

界面活性剤や洗剤、シャンプーにも使われている身近な成分です。

一般的にエンペローブウイルスと呼ばれるウイルス群の感染性をなくすためには、脂質二重膜、カプシド、RNAのいずれかの破壊が必要です。

アンチウイルススプレーに含まれている四級アンモニウム塩は脂質二重膜の破壊に有効です。

<四級アンモニウム塩の抗ウイルスメカニズム> (仮説)



2. 効果が約20日間持続

<有効性評価試験>

試験ウイルス/菌	試験方法	試験片の材質	保管期間	作用時間	作用温度	菌/ウイルス不活性化率
ウイルスA	液・液接触法	液・液	0日	1分	25℃	99.99%
ウイルスA	ISO21702 準用	PE	34日	24時間	25℃	99.9%
菌B	自社指定法	木片	28日	24時間	35±1℃	100%
		ガラス片	28日			100%
		SUS304	28日			100%
		標準布（綿）	28日			100%

1度の塗布で持続的*に効果を発揮！

ウイルス、菌に対して99.9%以上の不活性化の効果あり！

*全ての菌・ウイルスに対して効果があるわけではありません。（材質による）

3. 安定性・安全性

アンチウイルススプレーの液剤は肌にやさしい**弱酸性**（pH6.5~6.7）。
 対物用ですがテスト済みで**肌についても安心**です。

<安全性評価試験>

試験名／試験機関	試験方法	評価結果
24h閉塞 ヒト皮膚パッチテスト	<ul style="list-style-type: none"> 被験者20名に検体と陰性対象を被験者の背部に24時間閉塞塗布。 除去後2時間及び24時間後に判定。 	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚刺激性は許容品、問題はない。
ハムスター口腔粘膜 刺激性試験	<ul style="list-style-type: none"> ハムスター口腔内（頬袋）に被験物質を含侵させた脱脂綿を貼付。 24時間後に口腔内の外観、病理検査を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 肉眼観察：刺激正反応は認められず。 病理組織学的検査：口腔粘膜刺激指数は最小限。
抗菌スプレー 簡易リスク評価	<ul style="list-style-type: none"> 国際機関による評価書より、被験物質の有害性評価値※1を決定。想定されるシナリオにおける暴露量と有害性評価値とのハザード比※2を指標としてリスク判定。 	<ul style="list-style-type: none"> 吸入暴露シナリオにおけるハザード比は< 1。 ヒトの健康に悪影響を及ぼす懸念は無し。

※1 有害性評価値：被験物質（四級アンモニウム塩）について、国際機関等による評価書を対象に情報調査を行い、得られた情報に基づき算出された人や生物に影響が出ないと考えられる量（mg/Kg/日）

※2 ハザード比 = 1日推定ばく露量 / 有害性評価値
 ハザード比 < 1 ヒトの健康に悪影響を及ぼす懸念は無い（リスクなし）
 ハザード比 ≥ 1 ヒトの健康に悪影響を及ぼす事が懸念される（リスクあり）

3. 安定性・安全性

<安定性評価試験>

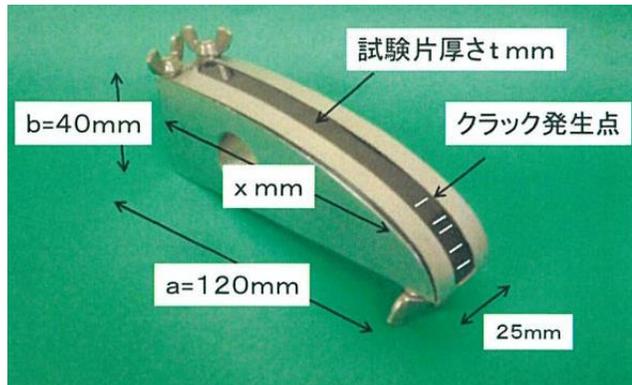
保管温度	保管期間	色調	外観	香調	pH	
					INI	5M
5℃	180日	無色透明	白濁無し	基材の香り	6.5	6.5
25℃	180日	無色透明	白濁無し	基材の香り	6.6	6.5
40℃	180日	無色透明	白濁無し	基材の香り	6.7	6.7
50℃	30日	無色透明	白濁無し	基材の香り	6.7	6.6

pH ほぼ変化なし

異なる環境下においても色や外観、pH、成分に変化はなく
安心してお使いいただけます。

4. 幅広い用途に使用できる

<耐薬品性試験>



目的：薬剤がプラスチックに付着した場合の耐性を確認
 材質：PMMA試験片(Poly Methyl Methacrylate)
 薬剤：アンチウイルススプレー
 薬剤耐性試験：1/4楕円法 ※
 試験環境：23±2℃、50±5%RH
 試験時間：24時間
 塗布方法：試験片を治具に取り付け、試薬をハケで1往復塗布
 状態観察：目視にて試験片表面の状態を観察

治具に試験片をセットし、表面に薬剤を塗布、24時間後、表面のクラック発生点 x を測定し臨界ひずみを求めた。

試験片厚 (mm)	クラック発生点 (mm)	臨界ひずみ (%)
1.44	111	1.718

臨界歪値目安 $\geq 0.7\%$

薬品との接触により、クラック（歪み）等が発生する可能性は低い。


PEや布、ステンレスのほか、アクリル、木材などにも使用できます。

商品ラインナップ

アンチウイルス スプレー



業務用 5 ℓ



280ml、48ml、48ml+トレシー®

アンチウイルス ウェットタオル



200×300mm 20枚入り